

アルテピアッツァ美唄・20年の軌跡

区分	1. 構想・計画、施設整備、彫刻設置	2. 利活用、行事、出来事	3. 安田侃の主な個展と受賞歴
1973 (S48) 1977 (S52) 1979 (S54) 1980 (S55) 1981 (S56) 1982 (S57) 1988 (S63) 1990 (H02)	(地域の状況) ○市内すべての坑内掘炭鉱が閉山(北菱我路炭鉱 11/22) ○美唄市内小中立的学校整備計画(学校統廃合計画) ○美唄市炭鉱跡地再開発計画策定(S54.2 S54~62) ○三菱美唄炭鉱跡地に「炭山の碑」建立(8/15) ○美唄市立栄小学校閉校(S56.3.23 児童数 62人) 最盛期の児童数は1250名(S34.5.1) ○昭和43年から校舎に併設の「美唄市立栄幼稚園」は存続 ○旧栄小学校体育館を落合地域体育館として開設 ○旧栄小学校体育館を安田侃の作品収蔵庫として使用	○美唄市が沼貝村誕生(明治23年)から90年、市制施行(昭和25年)から30年を迎える。 ○美唄市が沼貝村誕生から100年、市制施行から40年を迎える。	
1991 (H03)	○旧栄小学校周辺再開発計画 ○旧落合地域体育館改修(周辺整備基本計画)策定 ○ふるさとC&Cモデル事業(国土庁)の指定を受ける。 ○旧栄小学校体育館をアートスペースとして改修		○「彫刻の道」展 ミラノ(イタリア)1991.4~9
1992 (H04)	○浄化槽・排水施設を整備 ○特定地域における若者定住促進等緊急プロジェクト(自治省)の指定を受ける。(計画期間 H4~8) 南空知ふるさと市町村圏組合(11市町村) ○作品「回生」「無何有Ⅰ」「帰門」「めばえ」を設置	○芸術文化交流施設「アルテピアッツァ美唄」としてオープン(7/10) オープニングセレモニー(7/13) ○西原淑子オペラコンサート(8/26) ○市内小中学校絵画展(9/12~17)(以後継続) ○第47回全道展美唄巡回展(9/19~22) ○彫刻ニューコレクション メモリアルライブ「彫刻とジャズの出逢い」黒岩静枝ジャズコンサート(11/22) ※オープニングセレモニー、コンサート等自主支援組織(「アルテピアッツァ友の会」の前身)活動が始まる。	○第42回芸術選奨文部大臣新人賞
1993 (H05)	○アルテピアッツァ美唄整備計画策定(第1期基本計画 H5~8、延長~H10) ○アートスペースのレクチャー棟、野外アプローチ、照明・サイン等を整備 ○作品「真無」「吹雪」「地人」「無何有Ⅱ」「無何有Ⅲ」「帰門」を設置	○新春ピアノコンサート(モスクワ高等音楽院)(1/9) ○遠藤郁子ピアノコンサート(7/4) ○廃校の登校日~ライザーピアノデュオ廃校コンサート(道内10カ所)(廃校活用の先進事例として関係者から高い評価を得る。)(8/7) ※コンサート(6回)	
1994 (H06)	○トリフォリオの広場、駐車場等を整備 ○水の広場(ステージ)を整備 イタリアから来日した石工職人ジョルジョ・アンジェリらとともに、石舞台の制作と作品の設置を行う。	○第1回北海道地域文化選奨贈呈式が開催される。(2/12) ○北海道が「北海道文化振興条例」を制定するとともに、北海道文化基金及び北海道文化財団を設置する。 ○林峰男チェロコンサート(以後継続)(7/3)	○「大理石とブロンズ」展 ヨークシャー彫刻公園(イギリス)1994.9~1995.5 ○国際彫刻展賞(イタリア)

アルテピアッツァ美唄・20年の軌跡

区分	1. 構想・計画、施設整備、彫刻設置	2. 利活用、行事、出来事	3. 安田侃の主な個展と受賞歴
1994 (H06)	○作品「天沫」「妙夢」「天光散」「意心帰」「天沫」を設置	○石舞台設置記念コンサート「邦楽の夕べ」(12/17) ※コンサート(3回)	
1995 (H07)	○作品「天聖」を設置	○DUOクラリーナ・びばいコンサート(2/26) ○アルテピアッツァ・フルートコンサート(10/14) ○黒岩静枝ジャズコンサート(10/15) ※コンサート(4回)	○パークレー・スクウェア・ギャラリーロンドン(イギリス) ○ザ・エコノミスト・プラザ ロンドン(イギリス)1995.3 ○「野外彫刻展」ピエトラサンタ(イタリア)1995.6~9 ○世界のピエトラサンタ-ヴェルシリア賞(イタリア)
1996 (H08)	○水の広場を整備(池、流路等) ○作品「天秘」「真無」を設置	○坂田明ジャズコンサート(5/30) ○水の広場完成記念コンサート(11/26) ※コンサート(4回)	
1997 (H09)	○作品「めざめ」「新生」「生誕」を設置	○北の生活景観'97顕彰 ○「フォーラム in 美唄 大岡信講演会・大岡信/安田侃 文化対談」(北海道文化財団主催)(6/28) ○水の広場完成記念「能楽の夕べ」(6/28) ※コンサート(5回)、講演会等(2回)	○「野外彫刻展」マリーナ・ディ・ピエトラサンタ(イタリア)1997.8
1998 (H10)	○旧栄小学校校舎・幼稚園舎を改修、市民ギャラリー、修景等を整備	○市民有志による「アルテピアッツァ友の会」発足(5/24) ○安田侃講演会「現代彫刻の世界」、演奏会(7/18) ○イリス弦楽四重奏団コンサート(7/27)(以後継続) ○後藤竜二講演会&りんごの花コンサート(9/13) ※コンサート(7回)、講演会等(2回)	
1999 (H11)	○旧栄小学校校舎2階に「市民ギャラリー」を開設 ○作品「妙夢」「相響」「風」「天沫」「無何有」「アダムとエバ」「天翔」「天秘」を設置	○「市民ギャラリー」がオープン(4月) ○そらち・炭鉱の記憶フォーラム(3/26)(北海道空知支庁) ○そらち炭鉱(やま)の記憶写真展(5/22~6/30) ○山下洋輔 jazz コンサート(5/22) ○花柳鳴介「芸術との出逢い」(6/26) ○谷川俊太郎&Div'a「詩の朗読と音楽の夕べ」(9/15) ○上々颯風コンサート「びばい唄まつり」(11/21) ※コンサート&朗読等(8回)、展覧会(8回)	○「野外彫刻展」トッレ・デル・ラーゴ・ブッチーニ(イタリア)
2000 (H12)	○作品「妙夢」を設置	○美唄市が市制施行50年を迎える。 ○幼稚園自由画展 私立2園(6/16~29) 市立3園(7/5~23) ○綿引幸造写真展「北海道の季の色」(9/23~10/9) ○安田侃フィレンツェ展(10/13~11/1) ○第1回森の広場の音楽会(11/11)(以後継続) ※コンサート&朗読等(6回)、展覧会(8回)	○「街における彫刻」展 フィレンツェ(イタリア)2000.7~10

アルテピアッツァ美唄・20年の軌跡

区分	1. 構想・計画、施設整備、彫刻設置	2. 利活用、行事、出来事	3. 安田侃の主な個展と受賞歴
2001 (H13)	<ul style="list-style-type: none"> ○アルテピアッツァ美唄整備事業[基本設計]策定 (第2期基本計画 H14～23) 	<ul style="list-style-type: none"> ○北海道が創設した「北のまちづくり賞」知事賞を受賞 ○花柳鳴介 NEXT-ONE展 (4/28～5/10) 軌跡展 (6/1～20) ※コンサート (8回)、展覧会 (13回)、講演会等 (2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ○安田侃 野外彫刻展 東京都庭園美術館 東京 2001.4～2002.3 ○プッチーニ財団 プッチーニ特別賞 (イタリア)
2002 (H14)	<ul style="list-style-type: none"> ○彫刻の丘、身体障がい者用駐車場を整備 ○作品「相響」「天翔」「意心帰」「天聖」「天沫」 を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○岡田武史監督・講演会 (3/24) ○「安田侃の芸術広場 アルテピアッツァ美唄」が北海道 新聞社から出版される。(5/31) ○花柳鳴介「やすらぎの舞」(8/10) ○村井修写真展 (10/13～27) ○安田侃第15回村野藤吾賞受賞記念講演会 (10/19) ○「安田侃の世界展サポーター会議」が発足する。(10/19) ※コンサート (6回)、展覧会 (11回)、講演会等 (2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ○第九回 井上靖文化賞 ○第15回 村野藤吾賞 (受賞作品 アルテピアッツァ美唄) ○詩のアルピ・アブアーネ特別賞 (イタリア)
2003 (H15)	<ul style="list-style-type: none"> ○彫刻の丘、修景を整備 ○作品「めざめ」「ひとつがふたつ」「妙夢」を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○「安田侃の世界-天にむすび、地をつなぐ」展 北海道立 近代美術館、アルテピアッツァ美唄 (6/6～7/13) ○「安田侃の世界」展 オープニングパーティー (6/7) ○安田侃写真展 (6/7～7/30) ○後藤竜二講演会「物語の力・生きるカ-りんごの木」(6/29) ○天皇皇后両陛下北海道行幸啓でアルテピアッツァ美唄 を視察 (7/4) ○「産業遺産を活用した地域の再生」ブロックハウス講演会 (7/6) ○「能を楽しむタベ」能楽師 當山孝道 (9/6) ※コンサート (6回)、展覧会 (13回)、講演会等 (4回) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「安田侃の世界-天にむすび、地をつなぐ」展 北海道立 近代美術館、アルテピアッツァ美唄 (6/6～7/13) ○「Kan Yasuda 展」ヴィラ ラ ヴェルシリアーナ (イタリア) 2003.8 ○トスカーナ州特別賞 (イタリア)
2004 (H16)	<ul style="list-style-type: none"> ○外構(緑化)を整備 ○作品「天秘」を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○イサム・ノグチ 谷口吉郎 生誕百周年記念事業 「萬來舎」写真展「美の鼓動、永遠に」(5/2～31) ○記念講演会「イサム・ノグチの思いで」安田侃 (5/2) ○永六輔・神田山陽「ふたり会」(5/24) ※コンサート (16回)、展覧会 (17回)、講演会 (1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「オペラを彫る 蝶々夫人」展 ピサ空港 (イタリア) 2004.7
2005 (H17)	<ul style="list-style-type: none"> ○音の広場を整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○市が「アルテピアッツァ美唄整備基金」を設置 (3月) ○「NPO法人アルテピアッツァびばい」設立総会・記念 コンサート・特別対談(安田侃・磯田憲一) (4/10) ○第1回こころのふるさとアルテまつり (8/20) (2009年の第5回まで開催) ○訪れた人々のメッセージを綴った本「また来ます」が 求龍堂から出版される。(8/31) ○矢野顕子「出前コンサート2005」(9/2) ※コンサート (21回)、展覧会 (18回)、講演会等 (3回) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「人生を愛することは、平和を作ることだ」展 聖フランチェスコ大聖堂 アッシジ (イタリア) 2005.6～10

アルテピアッツァ美唄・20年の軌跡

区分	1. 構想・計画、施設整備、彫刻設置	2. 利活用、行事、出来事	3. 安田侃の主な個展と受賞歴
2006 (H18)	○工房・喫茶を整備	○「NPO法人アルテピアッツァびばい」が指定管理者としてアルテピアッツァ美唄の管理運営を行う。 ○「NPO法人アルテピアッツァびばい」が「Arte通信」を4月に創刊する。 ○安田侃講演会「アッシジ展と釜山ビエンナーレ」(5/27) ※コンサート(16回)、展覧会(14回)、講演会等(6回)	○イタリア連帯の星勲章 コッメンダトーレ章(イタリア)
2007 (H19)		○「砂澤ビッキ彫刻展」(2/17~3/17) ○「カフェアルテ・スタジオアルテ(体験工房)」がオープン(4/11) 管理運営を受託 ○「ここを彫る授業」が始まる。(4/6)(以後毎月開催)(安田侃が講師の授業は不定期に開催) ○安田侃講演会「時に触れる」(8/11) ○中丸三千繪&上杉春雄ジョイントリサイタル(10/27) ○神田山陽独演会「カヤの中」(11/3) ※コンサート(18回)、展覧会(17回)、講演会等(7回)	○「時に触れる」展 トラヤヌス帝の市場、ローマ皇帝広場博物館 ローマ(イタリア) 2007.9~2008.3
2008 (H20)	○作品「天秘」「意心帰」を設置	○在日イタリア大使館への美唄市長訪問(洞爺湖サミット関連交流事業に関わるアルテへの首相招聘要請)(1/23) ○並木博夫写真展「時間の風景」(3/5~23) ○伊日財団会長ウンベルト・ヴァッターニ氏がアルテピアッツァ美唄を視察(3/8) ○朗読会「アルテの森語り」がカフェアルテで始まる。(3/17)(以後継続) ○マッシモ・カタラーニ展を日伊財団・イタリア文化会館・美唄市・美唄市教育委員会共催で開催(5/30~6/11) ○イタリア文化会館館長ウンベルト・ドナーティ氏を迎え「イタリア共和国記念日を祝うイベント」を開催(6/4) ○「北海道洞爺湖サミットプレスツアー」で外国人記者(12名)がアルテピアッツァ美唄を視察(7/4) ○NPO夏の北海道セミナー「美術館のつくり方」(7/4)(日本NPO学会、文化経済学会共催) ※コンサート(11回)、展覧会(19回)、講演会等(6回)	
2009 (H21)	○「石のステージ」を補修	○安田侃講演会「春のアルテトーク」(5/2) ○KiKiゴスペルライブ in アルテピアッツァ美唄(5/30) ○森山大道写真展「北海道 序章」(7/29~9/28) ○北海道新聞社「第8回北のみらい奨励賞」受賞(10月) ※コンサート(18回)、展覧会(16回)、講演会等(8回)	○伊日財団主催 Japan Awards 賞

アルテピアッツァ美唄・20年の軌跡

区分	1. 構想・計画、施設整備、彫刻設置	2. 利活用、行事、出来事	3. 安田侃の主な個展と受賞歴
2010 (H22)	○作品「真無」を音の広場に設置	○地域づくり総務大臣表彰受賞(1月) ○“バトンを未来へ”アルテ市民ポボロ制度発足(4/1) ○美唄市・市制施行60年記念式典が開催される。(5/8) ○安田侃講演会「春のアルテトーク」(5/29) ○ヴィンチェンツォ・ペトロネ駐日イタリア大使夫妻がアルテピアッツァ美唄を視察(7/2) ○中西圭三コンサート「美しい唄」SPECIAL(7/11) ○空知とドイツの炭鉱遺産写真展(8/5～18) ○アルテの盆踊りが始まる。(8/13)(以後継続) ※コンサート(22回)、展覧会(21回)、講演会等(7回)	○第64回 北海道新聞文化賞 ○プッチーニ財団 ジャコモ・プッチーニ賞(イタリア) ○平成22年度文化庁長官表彰
2011 (H23)	○作品「胸いっぱい呼吸(いき)を」(じん肺根絶の碑 北海道じん肺基金様から寄贈)「天秘」を設置	○「思い出の炭鉱写真展」(8/11～21)(以後継続) ○「じん肺根絶の碑」除幕式・建立記念のつどい 北海道じん肺基金、北海道金属じん肺訴訟原告団・弁護士団、北海道石炭じん肺訴訟原告団・弁護士団(10/2) ○中西圭三チャリティライブ(10/11) ※コンサート(15回)、展覧会(21回)、講演会等(7回)	○「時に触れる」展 ヴァレンティーノ公園 トリノ(イタリア) 2011.5～9 ○「街に触れる」展 札幌市内各地 2011.9～11 ○「現代の神話」展 タオルミーナ シチリア(イタリア) 2011.12～2012.2
2012 (H24)	○作品「天秘」をアートスペース裏に設置	○小学生のための「こころを彫る授業」を始める。(2/26)(3/25)(以後継続) ○アルテピアッツァ美唄20周年記念事業 安田侃作品展「触れる」(7/4～8/6) ○PMFアンサンブル演奏会(7/22)(以後継続) ○「てくてく美唄炭鉱～我路編」(8/19) ※コンサート(16回)、展覧会(21回)、講演会等(5回)	
2013 (H25)	○行政・NPO・作家による協働で、公益財団法人設立、博物館登録、施設再整備などの課題に対する取り組みに着手 ○アルテピアッツァ美唄アーカイブ事業に着手 ○アートスペースの壁・塀を整備	○「NPO法人アルテピアッツァびばい」が「第20回北海道地域文化選奨」を受賞 贈呈式(2/17) ○安田侃講演会「地方文化の発祥地・トスカーナ」(4/13) ○安田侃講演会「イタリア：アートと歴史とまちづくり」(9/7) ○「NPO法人アルテピアッツァびばい」が、北海道から「控除対象非営利活動法人」第1号に指定される(12月) ※コンサート(6回)、講演会(3回)、展覧会等(14回)	○北海道文化賞
2014 (H26)		○「NPO法人アルテピアッツァびばい」が、北海道から「認定特定非営利活動法人」に認定される(2月) ○「アルテ文庫」開設に向けたファンドレイジングに着手	